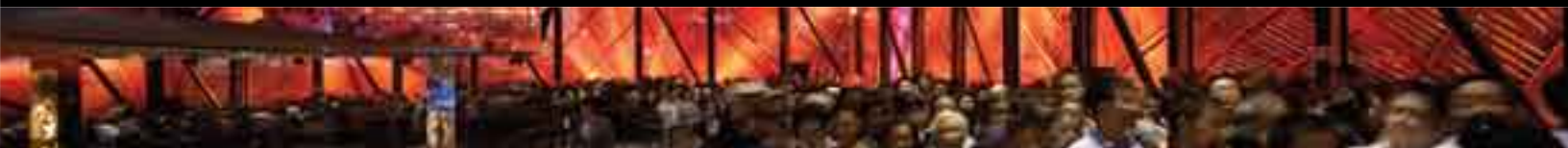




# シダーブック

創造空間に映えるウエスタンレッドシダー  
ウエスタンレッドシダー木材協会 | ウエスタンレッドシダー輸出協会

第4版



# シダーブック – 第4版

創造空間に映えるウエスタンレッドシダー

6	バーデン・パウエル・アウトドアセンター	_ イギリス ブラウンシー島
10	ビーコンパークパビリオン	_ カナダ ブリティッシュコロンビア州
14	万博2010 カナダパビリオン	_ 中国 上海
20	ファーストピープルズハウス	_ カナダ ブリティッシュコロンビア州
26	グレート・ボー・ヤード	_ イギリス ラングポーツ
32	アイセルスタインのトラム駅	_ オランダ アイセルスタイン
36	39571 InfoWash情報センター	_ 米国 ミシシッピ州
40	Irdeto本社	_ オランダ ホーフドロープ
46	駿府教会	_ 日本 静岡県
52	ウエストチェスター・リフォーム・テンプル	_ 米国 ニューヨーク州 スカースデール
58	YN-13ハウス	_ 米国 ニューヨーク州

PRINTED IN HONG KONG

編集:

ジム・タガート

設計:

Hunter Consulting International Inc.

表紙:

上海万博2010 カナダパビリオン

写真提供者:

ABCP Architecture and SNC-Lavalin、パトリック・アレイン

Hunter Consulting International Inc. の貢献に謝意を表します。

無断複写・転載を禁じます。

寛大な支援に謝意を表します:



協賛:



ウエスタンレッドシダー木材協会  
(WRCLA) | WWW.REALCEDAR.ORG



ウエスタンレッドシダー輸出協会  
(WRCEA) | WWW.WRCEA.ORG

## ウエスタンレッドシダー – 天然素材による持続可能性

ウエスタンレッドシダーは真に優れた天然素材の一つ。独特の美しさ、天然の耐久性、長年にわたり証明されてきた性能を備えるウエスタンレッドシダーは、真に持続可能な建材製品です。温室効果ガスの排出量、水質汚濁や大気汚染が少なく、他のものより生産に必要なエネルギーも少量ですむほか、再生可能で持続可能な資源から生まれます。地球の環境と限りある資源への負荷を低減する必要を、今日ほど迫られていることはありません。二酸化炭素排出量の少ない製品を選択して廃棄物質を減らすことで、私たちは現在のみならず未来の気候変動に対して真の影響をもたらすことができるのです。

何世紀も前に、太平洋岸北西部の原住民は持続可能な材料を使用することの価値に気が付いていました。ウエスタンレッドシダーに備わっている天然の耐久性、性能特性、および用途の多様性を好み、海に漕ぎだすカヌーや、家や小屋などの柱と梁に利用していました。今日では、世界中の建築家や施工業者の審美眼にかない、この美しく耐久性のある素材を使った建造物が建てられています。人工製品はいかに精巧に模倣されていても、天然の木材との違いは明らかです。真のウエスタンレッドシダー製品には、その美しさ、性能、そして耐久性において匹敵するものはありません。

シダーブックの第4版では、受賞歴のある世界中の素晴らしい建築をご紹介します。上海で開催された万博2010のカナダパビリオンから、米国ミシシッピ州のシンプルで機能的なInfoWash情報センタービルディングまで、持続可能な建築における、ウエスタンレッドシダーの美しさと性能との見事な融合をお目にかけます。

この本からヒントを得て、ウエスタンレッドシダーを今後の施工の機会にご検討いただければ幸いです。本書の次版へお客様の施工をご寄稿いただけます場合は、写真、説明、および会社概要を添えて施工の詳細を、ウエスタンレッドシダー輸出協会までEメール(info@wrcea.org)でお送りください。

ウエスタンレッドシダーにご興味をお持ちいただき感謝申し上げます。■



場所:  
イギリス ブラウンシー島

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## バーデン・パウエル・ アウトドアセンター (Baden Powell Outdoor Centre)

バーデン・パウエル・アウトドアセンターは、ナショナル・トラストとブラウンシー島スカウト・ガイド委員会により、ブラウンシー島におけるスカウトキャンプの100周年を祝して建設が委託されました。イギリス南岸のプールハーバーに位置するブラウンシー島は、科学的重要性の高い区域であり、環境保全に対する厳しい要件を伴う地域に指定されています。

この建物群には、ヘリテージセンター、教育空間、シャワー、洗面設備、スタッフ用の宿泊施設、および倉庫が含まれます。以前は、電気、ガス、下水道の設備がなく、非常に不便でした。その設計意図は、当初のスカウトキャンプ地を見晴らせる屋外の活動空間の周辺に、素朴でありながら空想的な建物が集まっているような野営地を作ることでした。

スカウトの伝統に沿って、建物は地面に触れる程度に建てられ、その形状は、最初の野営地で使用された独自のリッジポールテントにヒントを得ました。建物の向きは慎重に検討され、パッシブソーラー方式の暖房のために、太陽光の透過率を最大化することにより、電力負荷を最小に抑えています。

### プロジェクト提供

顧客:  
ナショナルトラスト/ブラウンシー島スカウト・ガイド管理委員会

建築設計:  
Wilkinson King architects

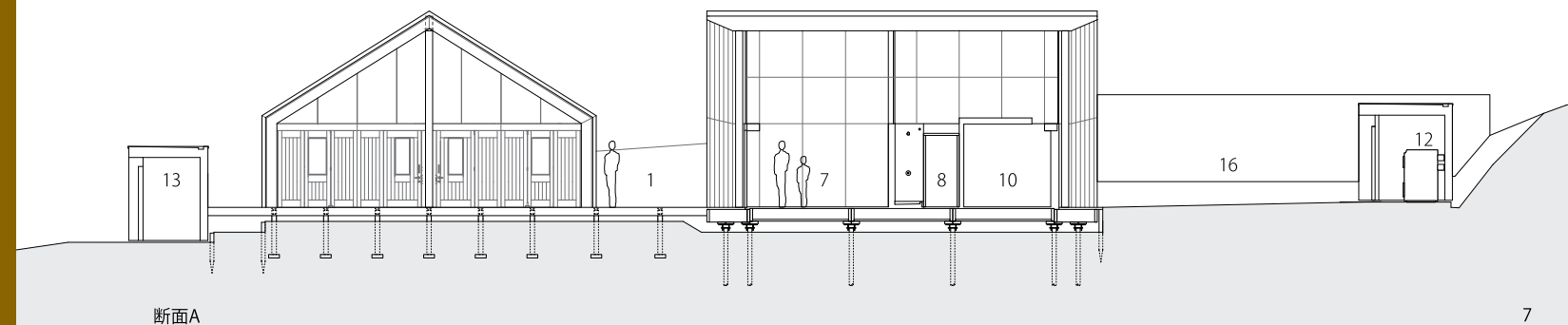
建築技師:  
Packman Lucas

建設請負業者:  
Spetisbury Construction Ltd (第1段階)  
Framework CDM (第2段階)

写真:  
Wilkinson King Architects



- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 屋外活動/集合スペース        | 12. 木材燃焼ボイラー |
| 7. 教育/多目的スペース         | 13. 洗浄スペース   |
| 8. 男性用洗面所&シャワー (拡張可能) | 16. 囲い地      |
| 10. 障害者用洗面所&シャワー      |              |





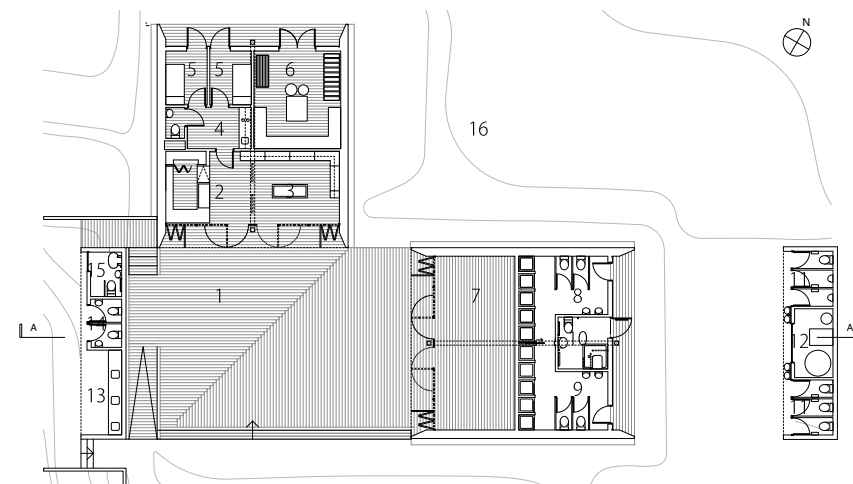


建物外面については、風雨から保護された切妻壁にのみ開口部を設けるよう設計に配慮が施されました。スライド式の折れ戸は全開することができ、夏には屋内と屋外のデッキスペースとの行き来が可能です。また、縁なしの2重ガラス面からは、年間を通して自然光がさんさんと降り注ぎます。

上部構造は既製の絶縁木材を使用した骨組板で構成され、これらはスチールスクリーパイルの基礎の上に置かれた、集成木材フレーム内で支えられています。主要な建物は地表面からは離され、木材を使用した床板への風通しを確保しています。

建物の内部は樺材の合板で裏打ち。外壁は、下端、トリム、およびデッキ用のウエスタンレッドシダーの板材を使用した、ウエスタンレッドシダーの屋根板で全体が被覆されています。防腐剤や塗装剤のステインによる地面への汚染の危険性を取り除くために、シダーには処理が施されていません。この自然のままの沿岸地への水質汚濁の危険性を考慮して、張出し屋根を通した水の浸透は避けられていました。■

敷地計画



- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 屋外活動/集合スペース        | 9. 女性用洗面所&シャワー (拡張可能) |
| 2. スカウトショップ           | 10. 障害者用洗面所&シャワー      |
| 3. パーデン・パウエル博物館       | 11. 公共洗面所             |
| 4. 食事場所               | 12. 木材燃焼ボイラー          |
| 5. スタッフ宿泊施設           | 13. 洗浄スペース            |
| 6. 倉庫                 | 14. キャンパー用洗面所         |
| 7. 教育/多目的スペース         | 15. 障害者キャンパー用洗面所      |
| 8. 男性用洗面所&シャワー (拡張可能) | 16. 囲い地               |



## ウエスタンレッドシダー仕様

### 屋根板

等級: CertigradeのNo.1青ラベル  
 外形: 標準テーパー  
 寸法: 長さ400mm、幅はさまざま  
 接合方法: 各屋根板を2本のアニュラリングジャンクのケイ素青銅釘で固定  
 塗布仕上げ: なし

### 板材

等級: クリア仕上げの乾燥材  
 外形: さねはぎ  
 寸法: 4表面 18×135mm  
 接合方法: 処理済み軟材パテンへの仕上げ釘  
 塗布仕上げ: なし





場所:  
カナダ ブリティッシュコロ  
ンビア州 シドニー

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## ビーコンパークパビリオン ( Beacon Park Pavilion )

この小さな舞台芸術パビリオンは、ブリティッシュコロニア州のシドニー町にある、海岸に面した公園内に建てられています。パビリオンの重なり合った貝殻の形は、コンピュータ制御でカットされた木材の一連の構造用肋材上に据えられた、合板圧迫スキンで構成されています。アーチ型のシェルは互いにわずかに分離され、ウォーターフロントからの風による揚圧力が分散されます。

貝殻の内部表面には、音波を反射するウエスタンレッドシダーのさねはぎ板が使用され、外部表面は、変わり続ける照明の回折と反映の効果を出すための、緑青付け亜鉛の連結屋根板で覆われています。

シダーは、外装用途において定評のある耐久性と、公園および隣接するロッキー山脈の水辺の景観に配慮して選択されました。シダー材は省エネルギー性のある再生可能資源でもあり、本建築において、二酸化炭素排出量の低い、現地で入手可能な材料が考慮されています。

### プロジェクト提供

顧客:  
シドニー町

建築設計:  
D'Ambrosio Architecture + Urbanism

建築技師:  
Fast + Epp

設計/建築製作:  
StructureCraft Builders Inc.

写真:  
D'Ambrosio Architecture + Urbanism



- 敷地計画
1. ビーコンパーク
  2. ビーコンパークパビリオン
  3. ビーコン埠頭
  4. フィッシュマーケット
  5. 船の進水場

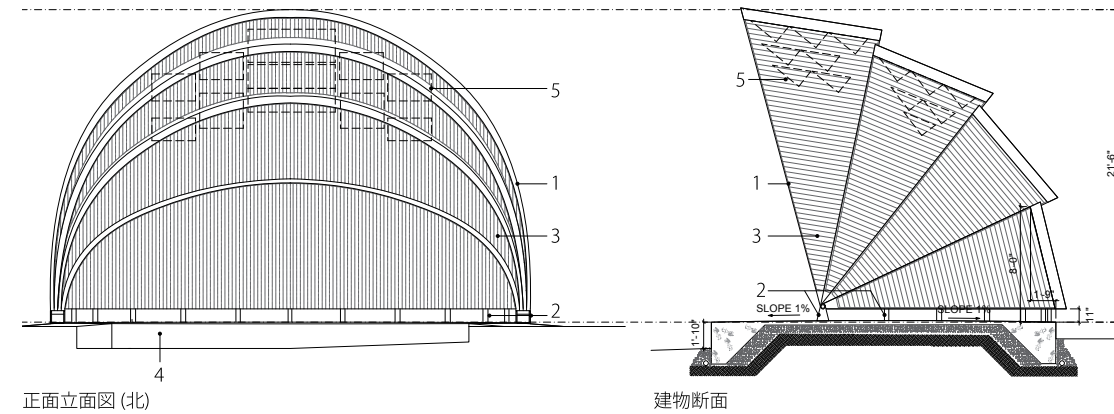




屋根の骨組みは工場で組み立てられ、トラックで輸送されました。その後、クレーンを使用して所定の位置に持ち上げられ、コンクリートスラブに打設されたスチールピンコネクタに固定されました。取り付け後、骨組みは合板接合プレートで連結され、シダーを用いた内張りが施されました。

ウォーターフロントの遊歩道からは、木製の重なり合った弧を持つ新しいランドマークの、活動的でありながら落ち着いたたたずまい、さらにつかの間のはかなさが眺められます。まるで海辺の舞台装置、そして建物自体がライブパフォーマンスのようです。 ■

屋根の構造図



正面立面図 (北)

建物断面

背面立面図 (南)

側面立面図 (西)

主要な建築素材:

1. Rheinzinkダイヤモンド屋根瓦&雨押さえ
2. 塗装スチール - ミル仕上げ
3. 下端まで、76mmのWRCクラディング
4. 現場打ちコンクリート - クリア覆い
5. 音響反射形 - 木製下端クラディングに合致



ウエスタンレッドシダー仕様

等級: クリア仕上げの乾燥材

外形: さねはぎ

寸法: 4面表面 25×100mm

接合方法: WRCバテンへの仕上げ釘

塗布仕上げ: 現地での水性塗料のクリア仕上げ





場所:  
中国 上海

プロジェクトタイプ:  
商業建築

## 万博2010 カナダパビリオン (Canada Pavilion Expo 2010)

### プロジェクト提供

顧客:  
カナダ政府遺産省 カナダパビリオン

概念設計:  
シルク・ドゥ・ソレイユ

建築設計:  
ABCP Architecture

建築技師:  
SNC Lavalin International Inc.

プロジェクト管理および建設管理:  
SNC Lavalin International Inc.

写真:  
Patrick Alleyn

上海で開催された2010世界万博において、一時的な建造物として設計されたカナダパビリオンは、ゾーンCのアメリカプラザに隣接した場所に6,000m<sup>2</sup>の広さを独占して建てられました。万博のテーマである「より良い都市、より良い生活」に合わせて、カナダの理想である社会と文化の包括および環境への責務の反映を目指し、3階建てのパビリオンが設計されました。

建物は、訪問者同士の交流を促し、コミュニティの感覚を生み出せるように、大きな公共スペースを含む「C」形となるように計画されました。常緑樹の苗木で造られた大きな生垣により、中庭に背景がもたらされています。都会の中の緑に対する普遍的な願望を表しているほかに、常緑樹の壁は天然のバイオエアフィルタとしての機能も果たしています。傾斜路を通じて、600万人が見込まれる訪問者を、中庭からパビリオン内部へと導きます。

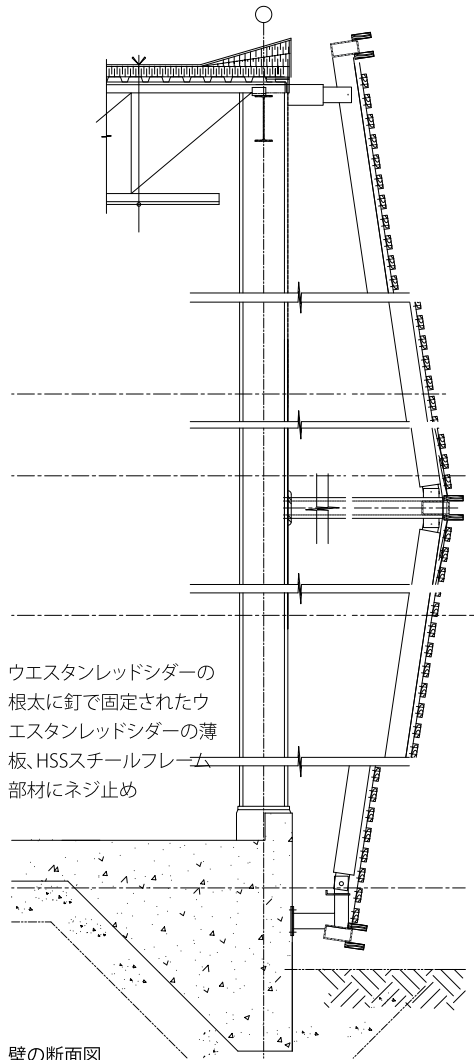






WRCクラディング用スチール支持構造の詳細

ウエスタンレッドシダーの薄板を使用した起伏のある外壁に作り上げたため、パビリオンの外観はオーガニックですが、基底構造は四角形であり、ステンレスチールのサンドイッチパネルで被覆されています。鋼管の外側の骨組みは、WRCの根太用の支持構造を形成し、そこには4,800m<sup>2</sup>以上のWRCの薄板が固定されています。シダーのスキンは、放射状の三角形のパネルに分割され、この幾何学模様からはカエデの葉が連想されます。



壁の断面図





昼間は、不透明で印象的、堂々とした様相のパビリオンですが、夜になると変貌を遂げます。シダースキン背後の鉄骨構造に取り付けられた照明が薄板を通して輝き、パビリオンが明るく透明になり、提灯を灯したような質感が醸し出されます。

ウエスタンレッドシダーを使用することにより、本設計において重要な、地球にやさしい側面が実現されました。慎重に選び抜かれた各板材は、現場でのこ挽きされ、万博終了後に簡単に解体でき、今後のプロジェクトで再利用できるように、下部構造に個別に固定されました。 ■



#### ウエスタンレッドシダー仕様

等級：ウエスタンレッドシダー No.2 クリア& BTR

外形：四角形

寸法：38×89mm

接合方法：セルフタッピングねじでスチールフレームに固定された根太。側面釘打ちで根太へ固定された薄板

塗布仕上げ：難燃剤および一度塗りの水性クリア仕上げ剤を工場で塗布。さらに、クリア仕上げ剤を現地で二度塗り





場所:  
カナダ ブリティッシュコロン  
ビア州バンクーバー島

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## ファーストピープルズハウス ( First Peoples House )

この1,200m<sup>2</sup>の広さを持つ多目的教育施設は、ブリティッシュコロンビア州バンクーバー島、ビクトリア大学のキャンパスに建造されました。この施設には、先住民大学院生自治会、先住民学生自治会、教室、教員用およびカウンセリングオフィス、年長者および学生ラウンジ、学習スペース、そして式場が含まれます。本プロジェクトの主な目的は、国レベル同様に、地域レベルで先住民学生のアイデンティティと自尊心を称賛する建築設計を展開することでした。

建物はコーストセイリッシュロングハウスから着想を得て設計され、建物の内外にウエスタンレッドシダーを使用することで、カナダ先住民文化を称賛しています。建物の柱と彫刻を施した扉、そして内装および外装サイディングに使用されたシダーはすべて、海辺からの回収物と、バンクーバー島のノースウェストコースト沿岸のディディダット・ネイション地域の再利用材です。これら材料は、適切な品質と準備期間を確保するために、建設の1年前に探し求めて購入されました。

沿岸の先住民により伝統的に用いられている、大きな厚板および太い柱と梁の構造から着想を得、設計戦略として、シダーをクラディング材として、建物の内側と外側のいずれにも使用することに焦点を当てています。建物は式場を覆う大きな傾斜の付いた屋根、教室、および管理棟を囲む低い屋根の、3つの区画に分けられました。ウエスタンレッドシダーのクラディングは、リボン状のガラス装飾と併せて、建物のこれら異なる機能要素を見分けるために使用されています。



### プロジェクト提供

顧客:  
先住民施策室

建築家/インテリアデザイナー:  
Alfred Waugh Architect

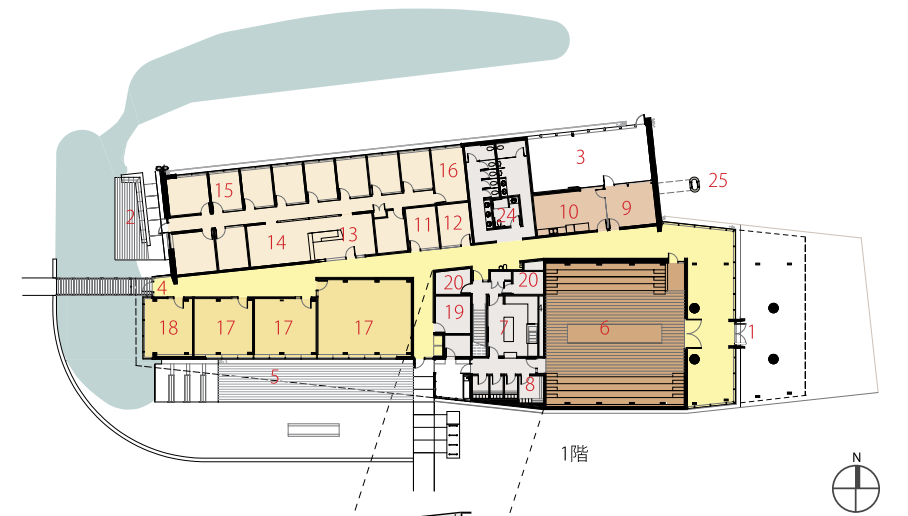
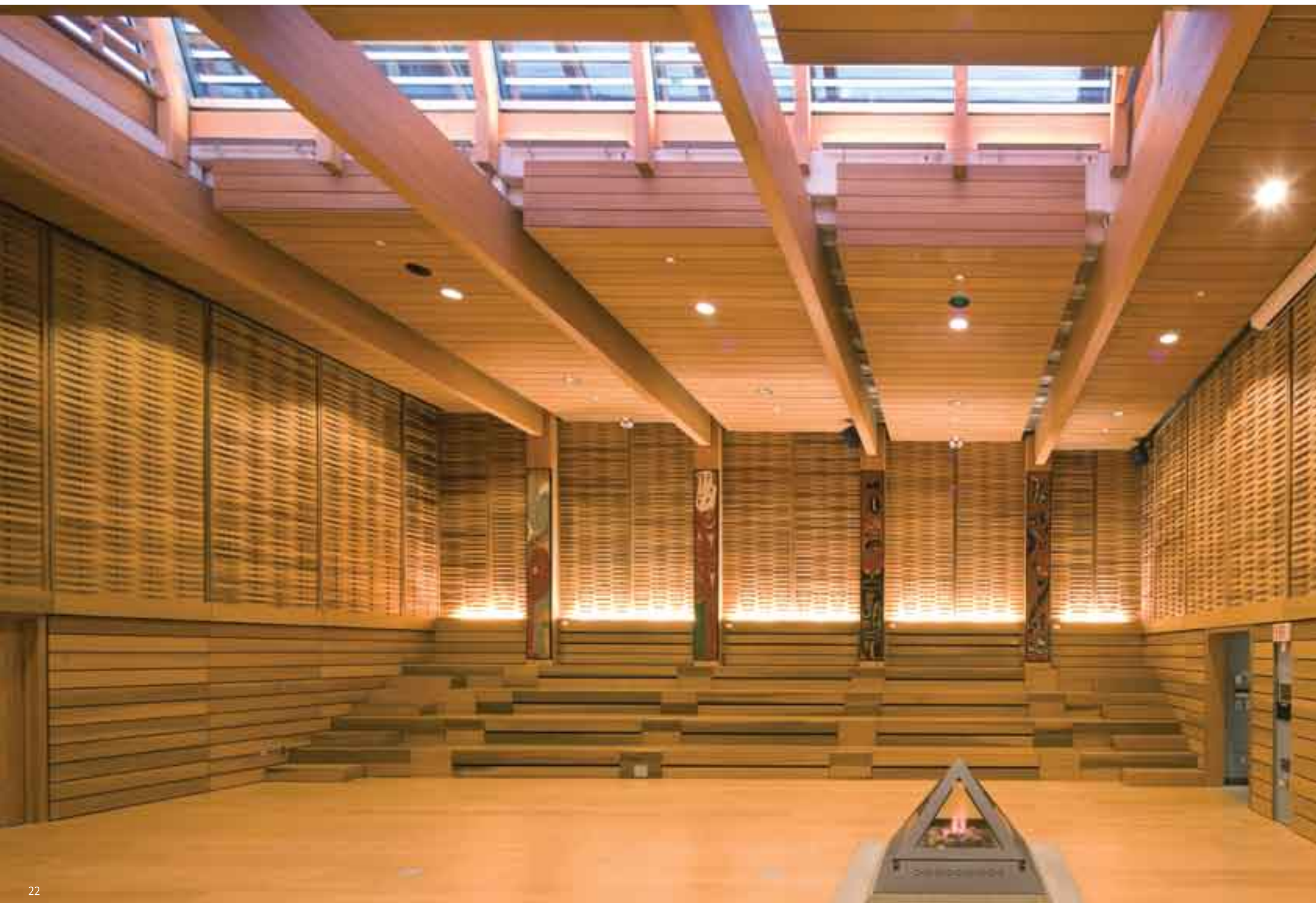
建築技師:  
Equilibrium Consulting Inc.

総合建設請負業者:  
Knappett Projects Inc.

WRC供給業者:  
Coast Ecotimber Inc.

写真:  
Nic Lehoux





- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 玄関ロビー                 | 13. 管理受付          |
| 2. 屋外カウンセリングデッキ          | 14. オープンなワークスペース  |
| 3. 年長者の中庭                | 15. 教員用オフィス       |
| 4. 西側入口                  | 16. 会議室           |
| 5. 南側デッキおよび<br>バーベキューエリア | 17. 教室            |
| 6. 式場                    | 18. 読書室           |
| 7. キッチン                  | 19. 管理            |
| 8. ダンサーの更衣室              | 20. 電気/通信         |
| 9. 年長者ラウンジ               | 21. 屋内駐輪場         |
| 10. スタッフラウンジ             | 22. 機械室           |
| 11. 学生先住民自治会             | 23. 倉庫            |
| 12. 院生協会                 | 24. 利用可能な洗面所/シャワー |
|                          | 25. 空気取入口         |

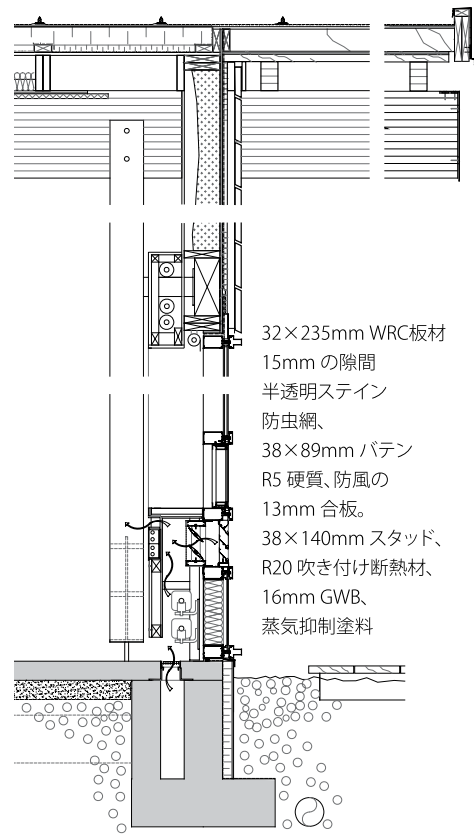




建物内部では、それぞれの部屋は柱と梁の構造で特徴づけています。柱と梁の構造は、正面玄関の天蓋と玄関ロビーでは、そのすべてが見えるよう造られました。式場と教室に使われている集成材の梁は、それぞれの場所から公共の廊下に伸びています。

芸術は先住民文化の不可欠な要素であり、本プロジェクトでは、彫刻を施した2セットのシダーの支柱と儀式用扉、および8枚のはめ込みパネルが、式場内に設置されました。式場の上壁は、かつてのロングハウスの内部を裏打ちしていたブルラッシュの艶消しにアイデアを得た、織りシダーパネルで覆われています。■

壁の断面図



### ウエスタンレッドシダー仕様

外壁雨よけスクリーンのクラディング: 32×235mm ウエスタンレッドシダー、Aクリアのカナダ先住民サルベージド S1S+2E

K.D. 板材、紫外線抑制剤を含む3層コートの水油性処理でステイン

内壁のクラディング: 19×235mm ウエスタンレッドシダー、Aクリアのカナダ先住民サルベージド S1S+2E K.D. 板材

内壁の織りシダーパネル: 6×45mmのクリアな織りシダー板片を使用した、38×64mmのクリアなウエスタンレッドシダーフレーム

クリアストーリーの木製日よけ: アルミのフレームにネジで固定された、38×140mmのクリアAウエスタンレッドシダーのルーバー





場所:  
イギリス サマセット  
ラングポーツ

プロジェクトタイプ:  
住宅

## グレート・ボー・ヤード ( Great Bow Yard )

このプロジェクトは、12の投機的な持続可能住居の指名設計競技の結果であり、イギリス南西部サマセットにあるラングポーツ市場町の河岸に位置する公共スペースと関連しています。顧客はこのプロジェクトが教育的になることを望み、潜在的な購入者および一般の人々に、環境保全を考慮した設計が素晴らしいものであるのと同時に、商業的にも発展の可能性を示しています。

ほとんどの樹木の成長に厳密に採り入れられる南向きが、敷地の制約により不可能であったため、北側と東側への2つのテラスまたはウイングの取り付けが提案されました。この提案により、2つの異なる試作を検討する機会が得られました。1つは、高い熱質量を持つ南向きのパッシブソーラーの設計であり、もう1つは、西向きの高断熱高気密の軽量木製フレームを使用した設計です。

各テラスは、南側に対して最大のエリアを取るよう設計されました。この設計は、北側ウイングでは片流れ屋根により、東側ウイングでは一連の反復切妻壁を取り付けることにより実現されました。その結果、各棟の南向きの屋根が開放的になりました。北側ウイングの太陽熱パネルは、このファサードの亜鉛メッキされたフレームに据え付けられています。さらに木製ルーバーが、パッシブソーラー設計に不可欠な、サンルームへの太陽光の透過を制御しています。

### プロジェクト提供

顧客:  
South West Eco Homes Ltd

建築設計:  
Stride Treglown

建築技師:  
Ellis & Moore

積算士:  
Westlea

建設請負業者:  
Russell Construction

木材供給業者&下請業者:  
Framewise

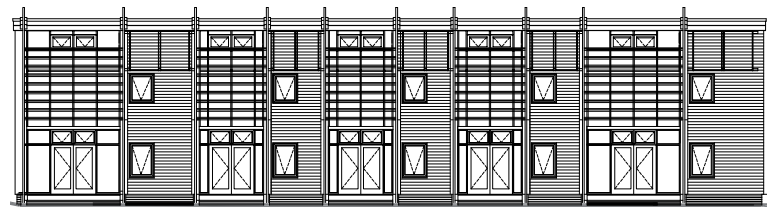
写真:  
Steve Townsend







東側ウィングの立面図

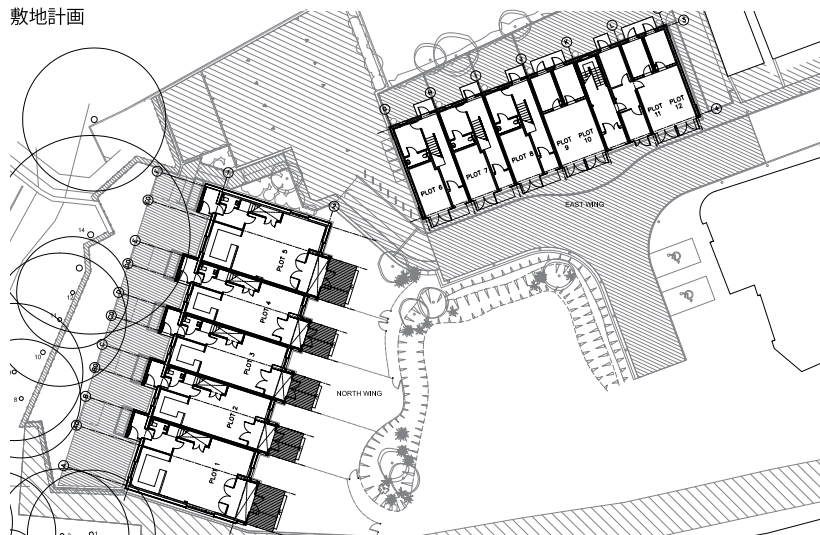


北側ウィングの立面図

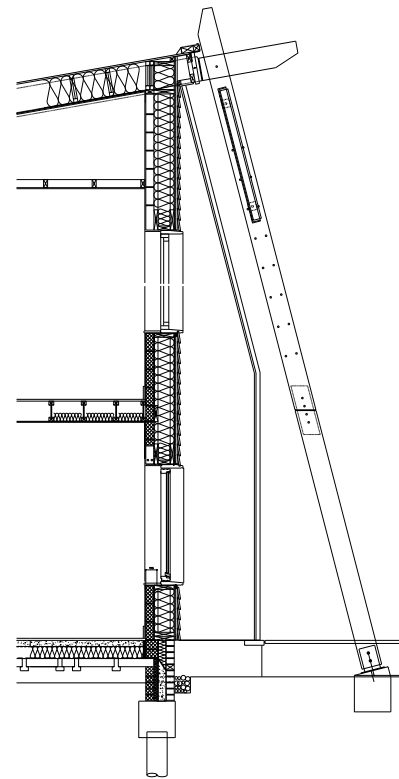


2つのウィングからは、中央に位置するエコロジカルな新しい庭と、その向こうに流れる川を見渡すことができます。また、多くのエコ住宅に用いられる小さな複数の窓の代わりに、高い位置にガラス面を配置して、日光を最大限に採り入れ、屋外の景色を見晴らせるよう設計されました。屋外テラスは、認定を受けた、正方形の縁の付いた重複ウエスタンレッドシダーの板張りで大部分が覆われています。本プロジェクトの環境的な理想を実現し、半自然の景色に建物が溶け込むよう、シダーが選択されました。

敷地計画







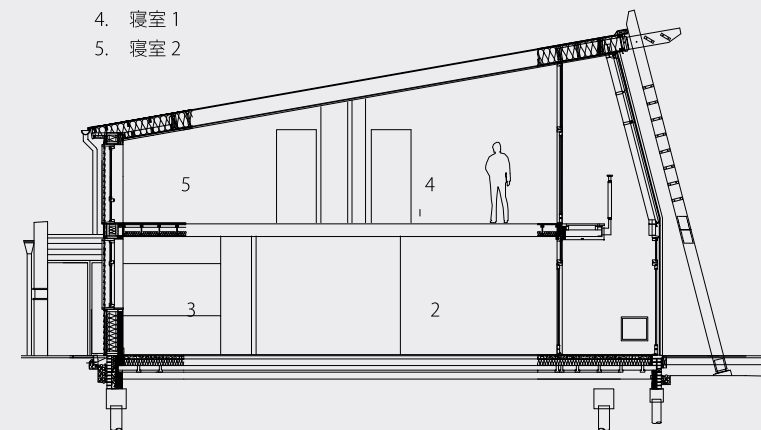
その他の外装材として石灰モルタルを使用した再利用可能なレンガが、近接する遺産倉庫およびミルハウスに隣接する部分に使用され、この新しい建物を周囲の景色に馴染ませています。これらの住居には専用の庭がありますが、中央のエコロジカルな庭からは河岸へ出ることができ、住民および住民以外の人々が同様に楽しむことができます。■

◀ 北側ウイングの詳細断面図

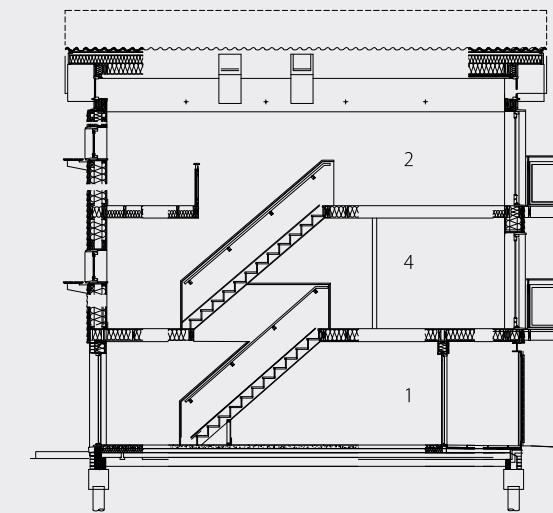
- 傾斜した木製の柱
- 木製ルーバー
- WRC正方形の縁付き重複サイディング
- 既製の木製フレーム壁パネル
- 断熱材

凡例

- 1. 入口
- 2. 居間
- 3. キッチン/食堂
- 4. 寝室 1
- 5. 寝室 2



北側ウイングの断面図



東側ウイングの断面図



ウエスタンレッドシダー仕様

等級：クラス2からイギリス標準1186-3まで

外形：正方形の縁付き重複

寸法：25mm重複付きの19mm×150mm仕上がり寸法

接合方法：丸型頭部アニュラリングシャンクのステンレススチール釘で機密固定

塗布仕上げ：未処理





場所:  
オランダ アイセルスタイン

プロジェクトタイプ:  
商業建築

## アイセルスタインのトラム駅 ( IJsselstein Tram Station )

オランダ、ユトリヒト近郊に位置する歴史的な街、アイセルスタインの多目的プロジェクトには、トラム駅、通りに面した小売スペース、その上には2階分の集合住宅が含まれます。19世紀以降、ヨーロッパにおける鉄道駅は、そのほとんどがスチールを使用して建設されるようになり、一般的には石造りの壁と支柱に支えられたガラスの円天井が配されています。この伝統を打ち壊し、アイセルスタインのトラム駅は主に木材を使用して建設されました。

計画はシンプルな四角形となって実現し、周囲に集合住宅を配した中庭を導入することにより、上部が開かれた形となりました。構造用集成材のアーチに支えられた浅い円屋根が中庭を覆い、建物を超えて延びているため、トラムのトラック上に広がる天蓋が印象的に演出されています。円天井の終端は開放され、集成材の梁の奥行きとあいまって、中庭の3つの側面にクリアストーリーを作りだし、日光が十分に差し込むようになっています。アーチからスチールケーブルで吊り下げられた集成材の橋を通して、中庭を横断することができます。

円屋根のいずれの側も低い平らな屋根がつながり、トラムのトラックを覆うように延びています。細長いスチールの柱に支えられたこれらの屋根は、50×100mmのサブフレーム木材に固定された、さねはぎウエスタンレッドシダー板材構成の落ち天井を特徴づけています。フレームは両端に集められているため、天井が空中に浮いているかのような幻想的な情景が生まれています。

### プロジェクト提供

顧客:  
Ahold Vastgoed bv

建築設計:  
Kraaijvanger • Urbis

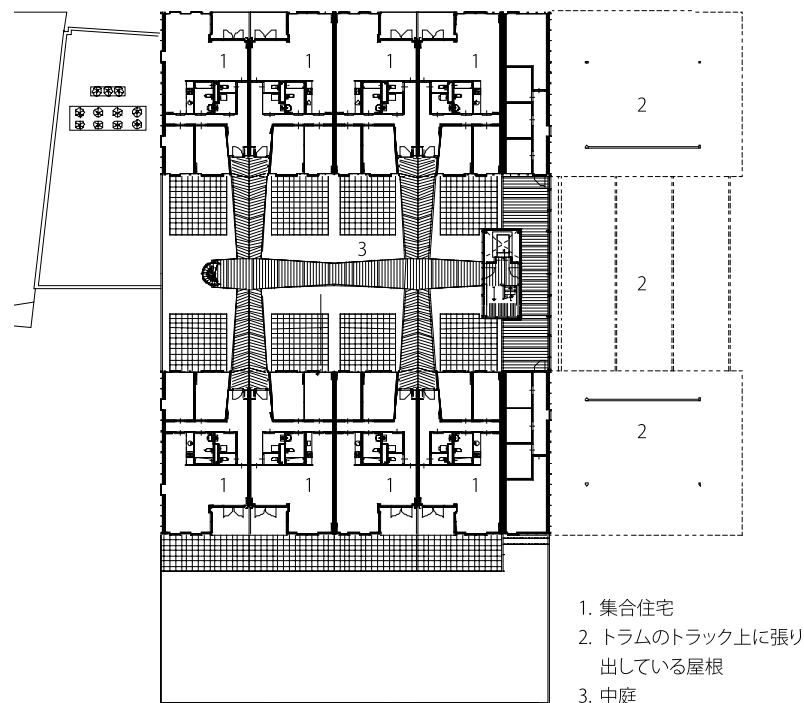
建築技師:  
De Bindt Raadgevend Ingenieurs

写真:  
Jan Derwig





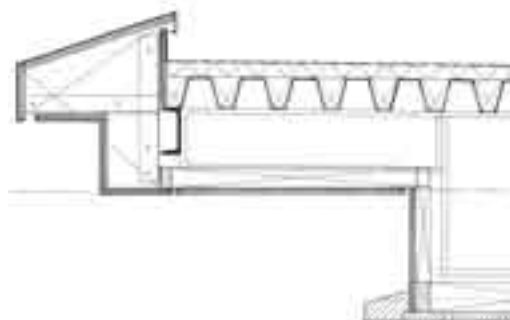
集合住宅階の計画



1. 集合住宅
2. トラムのトラック上に張り出している屋根
3. 中庭

詳細1 屋根の端

- 防水膜
- 断熱材
- 金属デッキの側面
- 金属胸壁の側面
- 合板鼻隠および下端
- 鉄筋構造
- 軽量木材のフレーム
- WRC落ち天井
- WRCエッジトリム



このプロジェクトは、建物のほぼ全体がガラス張りの新しいコミュニティセンターに隣接して建設されました。建築材はトラム駅まで運搬され、1階店舗を包み込み、明るく透明な台座が建造されました。その上に建つ2階建ての集合住宅は、まるで浮いているように見えます。素材の対照性を際立たせるために、集合住宅には主に、きびきびとした表情を見せる縦方向のさねはぎウエスタンレッドシダー板材が使用されています。環境要素や、外装用途として定評のある耐久性、視覚的な温かさにより、ウエスタンレッドシダーがこのプロジェクトの建築材として選択されました。■

立面図



ウエスタンレッドシダー仕様

下端

- 等級: B (NEN 5471、オランダ標準化協会)
- 外形: 四角形
- 寸法: 表面 25 × 152mm
- 接合方法: 処理済み軟材サブフレームへのステンレススチールの釘打ち仕上げ
- 塗布仕上げ: 難燃圧縮処理

クラディング

- 等級: B (NEN 5471、オランダ標準化協会)
- 外形: さねはぎV接合
- 寸法: 表面 25x203mm
- 接合方法: 処理済みバテンへのステンレススチール釘打ち仕上げ
- 塗布仕上げ: 難燃圧縮処理





場所:  
米国 ミシシッピ州  
ドリール

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## 39571 InfoWash 情報センター

2006年の春から夏にかけ、パーソンズ大学建築総合学科の学生13人が、ハリケーン・カトリーナの直撃を被った町ミシシッピ州ドリールに、新しい情報センターとコインランドリーの設計と建設を行いました。

SHoP Architectsはすでに、地元住民のマーサ・マーフィーとともにドリールで災害後の再生復興プロジェクトに携わり、必要な物資を調達してプロジェクトを支援していました。コミュニティの短期および長期のニーズへの対策要素を組み合わせ、39571は住民に正常な状態へ復帰するための支援を行い、かつては当然のことであった、さらに必要なサービスを提供しています。

春学期、学生は M.Archプログラムの監督者であるデビッド・J・ルイスと協力して調査を行い、顧客およびコミュニティのメンバーと会合を持つためにミシシッピに2度足を運び、このプロジェクトを設計しました。その後、彼らは完全な建設書類を作成し、プロジェクトの材料を注文して集めました。

グループはその夏をドリールで過ごし、その期間にスチール構造を手作業で組み立て、構造パネルを取り付けて防水加工を施し、屋根に断熱材を付け、アルミのメッシュとステインシダーで建物を被覆し、そして特注の家具と壁で内装を整えました。

### プロジェクト提供

#### 顧客:

ミシシッピ州カトリーナ基金(Mississippi Katrina Fund)、Martha Murphy、Kathi Heinzl、Bill Heinzl、およびLoretta Lizana深く感謝する。

#### 設計/建設プロジェクトチーム:

The Design Workshop、Parsons The New School for Design

#### 登録建築士:

SHoP Architects

#### 建築技師:

Dunne & Markis Consulting Structural Engineers

#### 登録エンジニア:

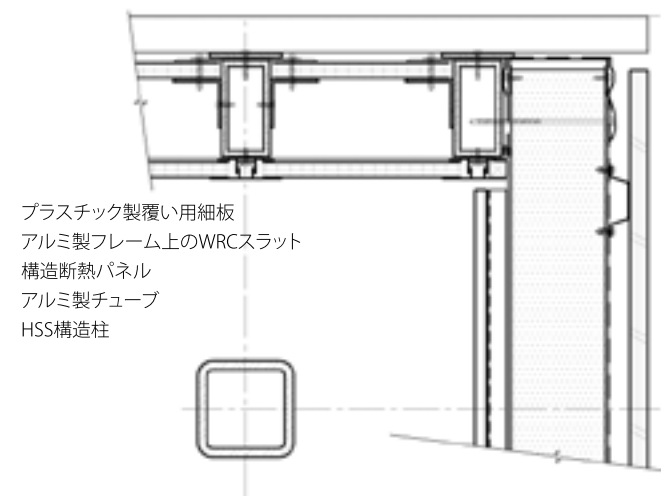
Geoffrey Clemens, Compton Engineering



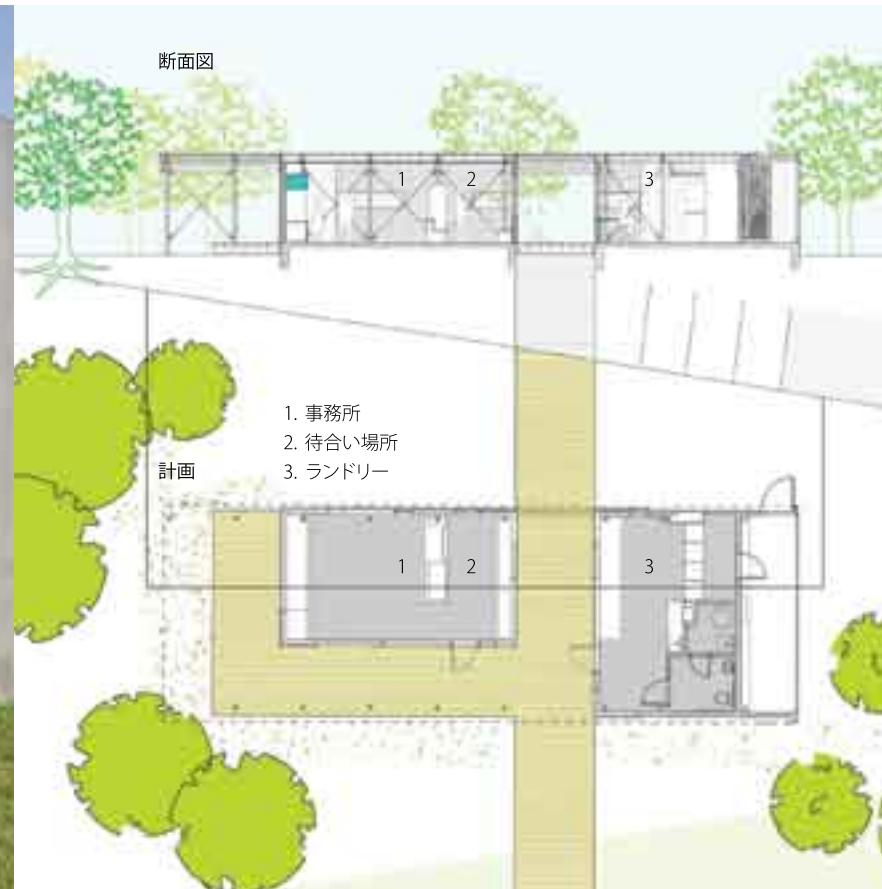


屋根付きの通路により繋がれた2つの棟から成る南側の建物は、奥行きのある張出し屋根で保護されています。一方、北側の壁には透明なポリカーボネートが使用されているため日当たりがよく、夜間には建物が明るく輝きます。アルミの細長い板に取り付けられた、パネル状の木製薄板スクリーンが、不透明な壁と透明な壁のいずれをも包み込み、素材を一体化させ、正面にある程度の暖かさと親しみやすさをもたらしています。

ウエスタンレッドシダーは、虫害への耐性、作業のしやすさ、および自然な風化の特徴から、主な外装材として選択されました。その年の初秋、この建物の運用が始まりました。非常に需要の高い洗濯設備をコミュニティに提供する場となり、その地域の復興を促進するために必要な、あらゆる複雑な情報を収集して、それを広めるための拠点となりました。 ■



角部分の詳細計画



断面図

計画

- 1. 事務所
- 2. 待合場所
- 3. ランドリー

### ウエスタンレッドシダー仕様

- 等級: クリア
- 外形: 四角形
- 寸法: 50×50mm、25×100mm
- 接合方法: アルミ製細板にステンレススチールネジで隠し接合し、既製パネルを整形
- 塗布仕上げ: 透明ステイン





場所:  
オランダ ホーフドロープ

プロジェクトタイプ:  
商業建築

## Irdeto 本社 (Irdeto Head Office)

### プロジェクト提供

所有者:  
Fortress

主要テナント:  
Irdeto Hoofddorp

建築設計:  
MIII architecten

建築技師:  
Van Rossum Raadgevende Ingenieurs

総合建設請負業者:  
Slavenburg

写真:  
MIII architecten

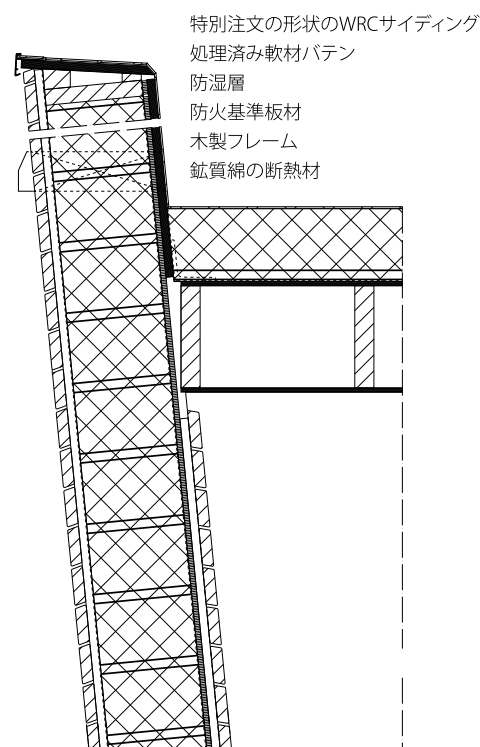
10,000m<sup>2</sup>の広さを持つこのオフィスビルは、デジタルコンテンツのセキュリティや、ワイドスクリーンおよび携帯テレビを専門に扱う大手の国際ハイテク企業、Irdetoの本社として2010年に竣工しました。このビルは、オランダの主要な国際空港の近郊、ホーフドロープのビジネスパークに位置するという戦略的な立地条件を備えています。

このビルは、128台の車が収容可能な駐車場の2階建て台壁、およびその上の6階建てオフィスビルの、2つの主要素から成ります。駐車場には、濃灰色のレンガで被覆された、シンプルな直線形の台壁が使用されました。これとは対照的に、その上に建てられたオフィスビルは3つのウイングに分けられ、中央に位置するアトリウムを取り囲んで不規則に配置されています。オフィスビルの中へは、緩やかな傾斜路を通して入ります。





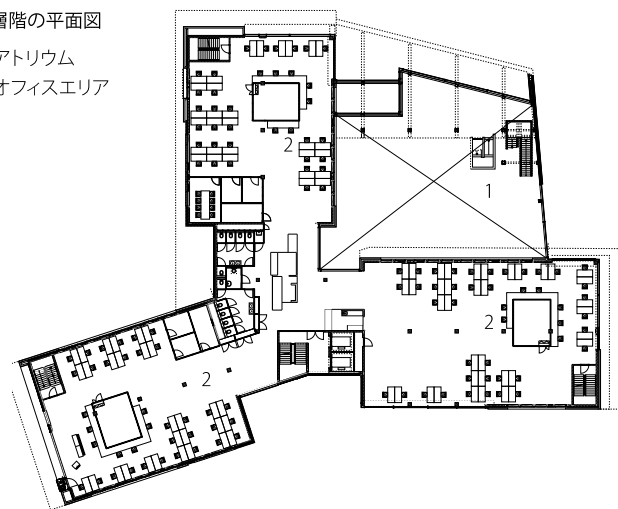
傾斜した外壁の断面図詳細



建物からアトリウムまで、すべてウエスタンレッドシダーが使用され、3つのウィングの統合感を出しています。内部の大きな空間はほとんど間仕切りがなく、不規則な形状のために作られた多くの内角で輪郭が浮き出されています。共同作業環境と将来を見据えた柔軟性が、社会的に持続可能な設計手法のキーポイントです。音や視線の遮られる空間は最小に抑えられ、天井から床まである窓からは周囲の地形を広く見渡すことができます。

上層階の平面図

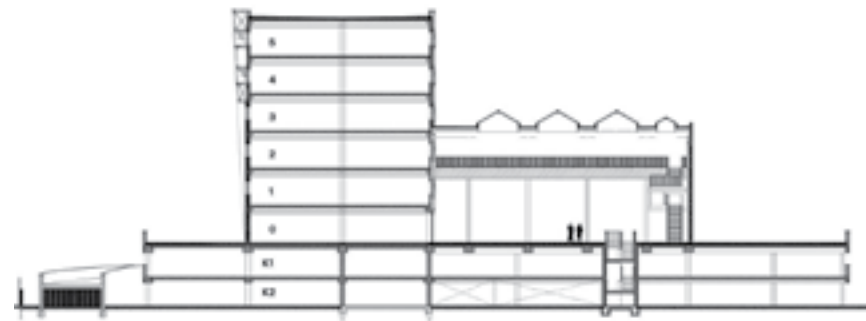
- 1. アトリウム
- 2. オフィスエリア







建築構造的には、建物の要素である木材、スチール、およびガラスとの間の、言い換えれば、自然素材と産業資材との間の相互作用が入念に考慮されました。この相互作用は、人的資源の創造力によりハイテク製品を生み出す、Irdeto社自体の業務の象徴とも読み取れます。 ■



東西の断面図



南北の断面図



ウエスタンレッドシダー仕様  
等級：B (NEN 5471、オランダ標準化協会)  
外形：面取りおよび円形  
寸法：主に28×89mmの特別注文のミル加工形状  
接合方法：仕上げ釘  
塗布仕上げ：難燃剤および3度塗りSansin EnviroステインSDF





場所:  
日本 静岡県

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## 駿府教会 ( Sun-Pu Church )

日本の静岡県にあるこのプロテスタント教会は、鉄道沿いの角地に建てられ、隣接する商業地域と住宅区域をつなぐ役割を果たしています。この教会は、2つの主要な建物から成ります。1つは商業用建物の形状を反映した正方形の礼拝所、もう1つは、近隣の住宅と外観を合わせた、勾配のある屋根を持つ牧師の住居です。

この建築の主な目的は、聖書を読み聞かせるという、プロテスタントの礼拝の最も基本的な一面に寄与する礼拝空間を作り出すことでした。そのため建築構造的には、聖域に最大限に日光が差し込むことと、屋外の騒音と屋内の音響を制御することにより最適な講話の環境を作ることにより焦点が当てられました。

建物の外装は、仕上げを施していない様々な厚みのウエスタンレッドシダーで被覆されているため、太陽が当たると、光と影が融合する不均一な面が表出します。時が経ち、シダーが銀白色に風化するにつれて、礼拝所の外壁はエッチング加工の様相を帯び、建物の角に架けた十字架に理想的な背景がもたらされるでしょう。

### プロジェクト提供

顧客:  
日本基督教団、駿府教会

建築設計:  
Taira Nishizawa Architects

建築技師:  
Kanebako Structural Engineering

写真:  
Hiroshi Ueda

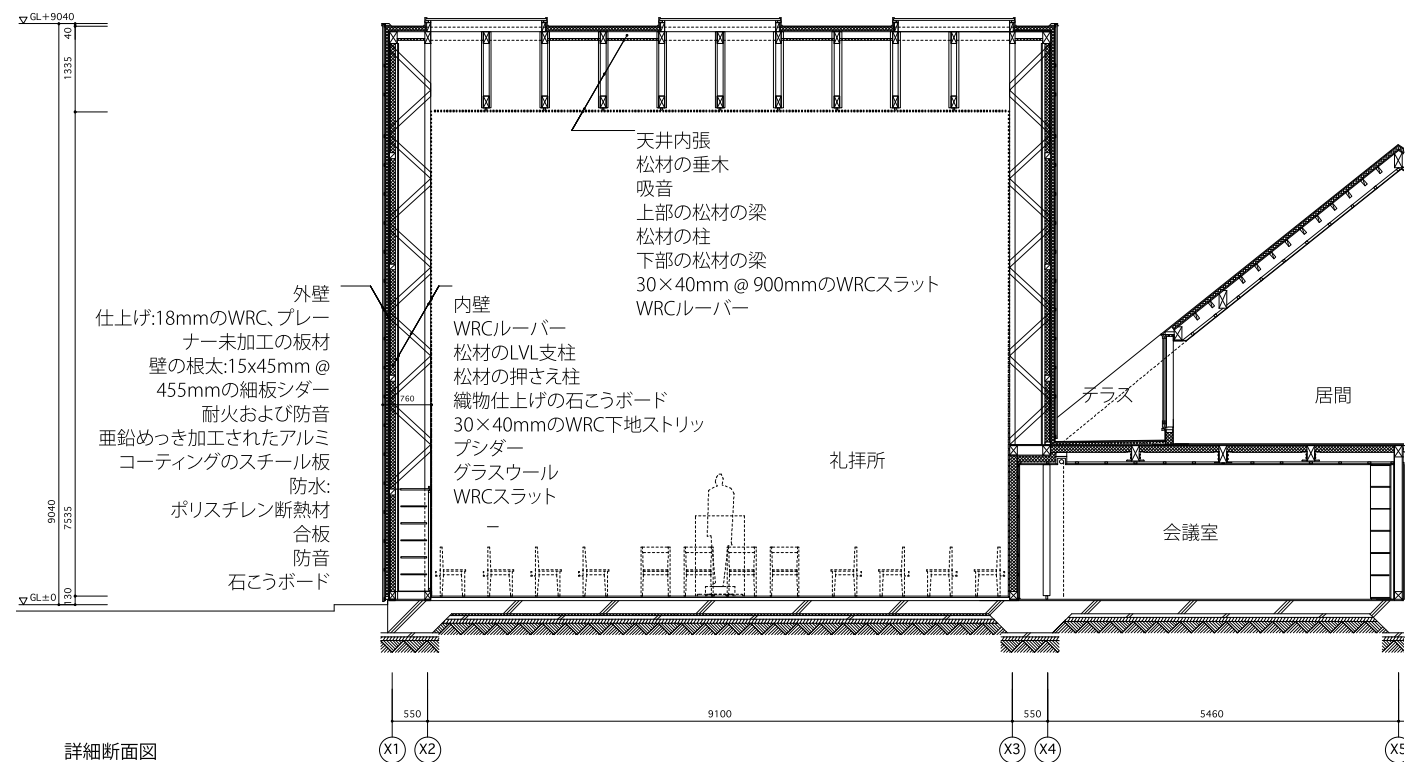




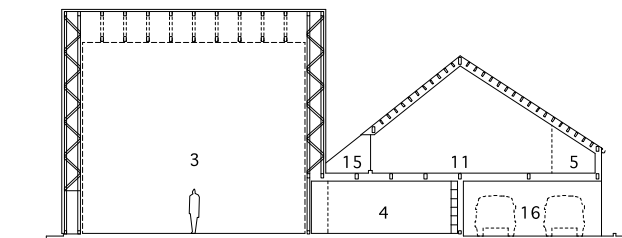


聖域の内壁は水平方向のウエスタンレッドシダー板材で、床から天井にかけて徐々に板材間の隙間が広がるように内張りされました。天井もまた、大きな天窗の下に透けて見える効果を演出する細いシダースラットで内張りされ、日差しを和らげています。1日を通して変化する太陽の角度に従い、日光の当たり具合で、シダースラットの背後に配された建物の構造骨格が見え隠れします。まるで建物自体が呼吸しているかのようです。

深部壁と屋根の空洞は部分的に防音材が使用され、シダースラット間の隙間と合わさって残響時間を制御し、増幅されていない人間の声にとって理想的な条件が整います。光と音はこのようにして一体となり、天と地を結びつけて、礼拝のための感動的で機能的な環境が作り出されています。 ■

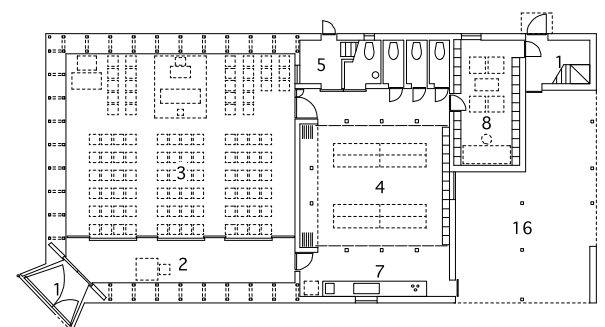




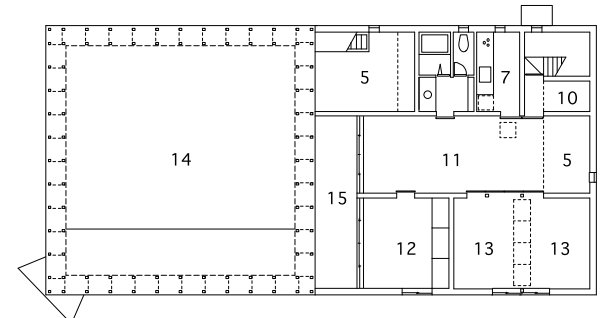


剖面

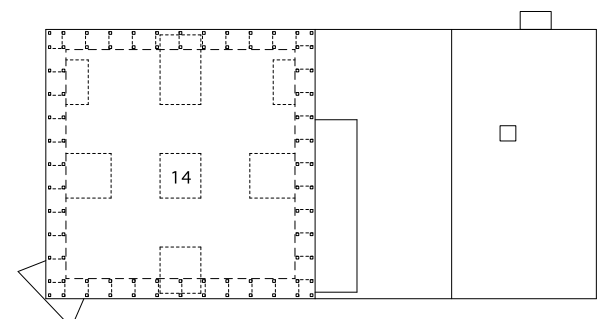
- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 入口   | 9. 洗面所    |
| 2. 入口通路 | 10. 貯蔵室   |
| 3. 礼拝所  | 11. 居間兼食堂 |
| 4. 会議室  | 12. 寝室    |
| 5. 予備室  | 13. 子ども室  |
| 6. 御手洗  | 14. 空き    |
| 7. キッチン | 15. テラス   |
| 8. 学習室  | 16. 駐車場   |



1階の間取り図



2階の間取り図



屋根の床



ウエスタンレッドシダー仕様

- 等級: 特別注文
- 外形: 長方形
- 寸法: 厚さ18mm、不揃いの幅と長さ
- 接合方法: WRCバテンへの仕上げ釘打ち
- 塗布仕上げ: なし





場所:  
米国 ニューヨーク州  
スカースデール

プロジェクトタイプ:  
教育施設

## ウエストチェスター・ リフォーム・テンプル ( Westchester Reform Temple )

ニューヨーク州スカースデールにあるウエストチェスター・リフォーム・テンプルの基本計画には新しい教会複合建築が含まれ、郊外の新しい神学校と既存の建造物を改装した学習センターもその一部です。この計画には、現地の広範囲に及ぶ改造が含まれ、広大な造園地内では緑道を通してキャンパスを行き来することができ、まとまり感が実現されています。

新しい聖域の建物には経済的な建築資材と自然光が使用され、壮大であると同時に親密感のある礼拝空間を生み出しています。ビーマーの背後に位置する、東に面した屋外の庭への見通しは、この計画の主題となる要素です。建築家は教会の聖職者と密接に協力して、聖域の座席やビーマーを設計し、典礼様式に対する尊敬の念を表すとともに、さまざまなサービスや宗教的な行事を取り行えるようにしました。

東側の壁には、鏡張りの下面を持つ、ガラスのルーバーで構成されたスピリチュアルな庭に面して窓が設けられています。壁には3種類の対照的な表情があります。まっすぐに見通せる創意工夫に富んだ庭は、我々が取り巻いている世界を見せ、反射された理想的な庭の情景は、我々は多くの表情を持つ広い世界の一部であることを思い出させます。そして集会所の静かなたたずまいは、礼拝をともに行う共同体を映し出します。これらの表情すべてが一体となり、聖なる櫃を保持しています。聖なる櫃はこの場所における人々の象徴です。

### プロジェクト提供

顧客:  
ウエストチェスター・リフォーム・テンプル

建築設計:  
Rogers Marvel Architects

建築技師:  
Robert Silman Associates, PC

総合建設請負業者:  
E.W. Howell Company Inc and Kane Contracting

写真:  
Paul Warchol Photography

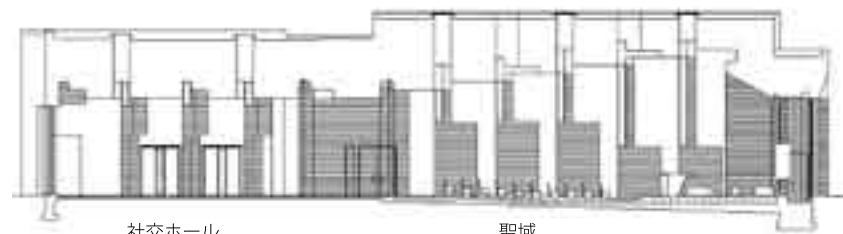






敷地計画

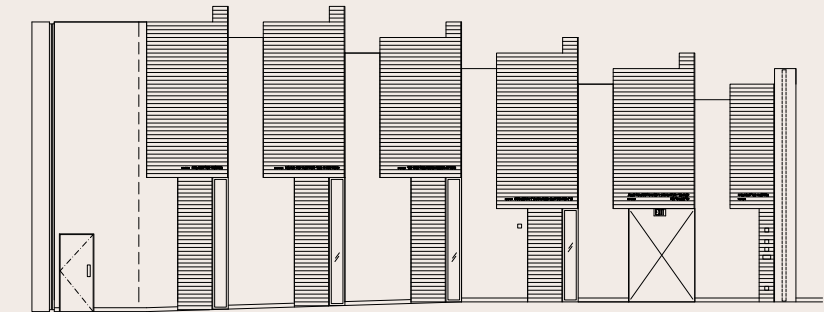
この聖域は7つの横方向の帯飾りで構成され、毎日がお祈りと学習の日々であることを知らしめると同時に、7日目は特別な安息日であることを思い出させます。同様に、7つ目の帯飾りのしつらえは特別です。それは、ほぼ完成された帯飾りで、ビーマーを縁取り、聖なる櫃を保持しています。聖域と社交ホールが組み合わされて1つの礼拝空間になると、イスラエル12部族の象徴である12の帯飾りが現れます。



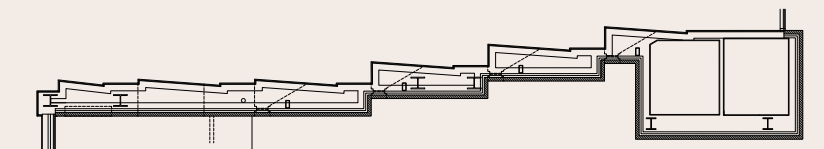
社交ホール

聖域

聖域に隣接する廊下の断面図



聖城南壁におけるWRCパネリングの立面図詳細

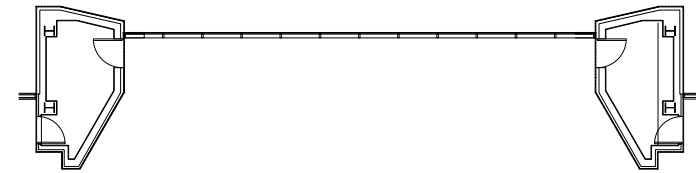


聖城南壁におけるWRCパネリングの間取り図詳細

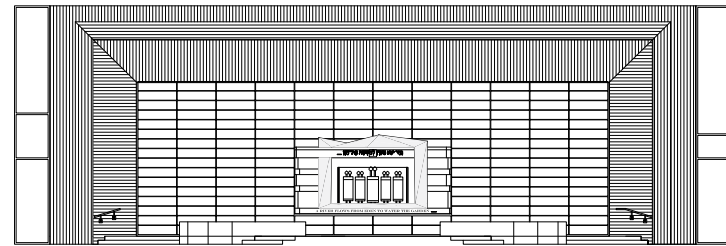


ウエスタンレッドシダーは、この空間全体に暖かさを与える目的と同時に、建築的な横縞を強調するために使用されました。安息日までの7日間を象徴するシダーの各帯飾りには引用句が刻み込まれ、簡素な石こう表面との対照を際立たせ、ユダヤ教に特有の観念を表現しています。■

聖域の間取り図:7つ目の帯飾り



聖域の立面図 - 東



### ウエスタンレッドシダー仕様

等級: 等級Aの乾燥材

外形: さねはぎ

寸法: 25×100mmの同一平面の板

接合方法: 末端の角に凹頭釘で隠し釘打ち

塗布仕上げ: 低VOCステインで風化シダーを模倣





場所:  
米国 ニューヨーク州  
シェルターアイランド

プロジェクトタイプ:  
住宅

## YN-13 ハウス

ニューヨーク州ロングアイランドの東端沖にある小さな島、シェルターアイランドの北端近くにYN-13ハウスは建てられました。この住居は3つの独立した建物から成ります。母屋、ゲストハウス、およびガレージの3棟で、これらは周囲の森林と調和し、中央にプールのある後方の中庭を囲んでいます。

母屋の勾配のある金属屋根と張り出した複数の角部により、周りの風景とその向こうに広がる海という大きな要素である景観が引き立ちます。ウエスタンレッドシダーのクラディングの設計は、京都や金沢に見られる、日本の歴史的な住宅構造に着想を得ました。縦方向のバテンと傾斜した水平サイディングが、ステンレススチール屋根のたてはげと融合し、視覚的な統一感をもたらしています。

ウエスタンレッドシダーの表面は構造的なつながりを強調し、屋外から屋内へと移動するにつれて、なだらかさが増してゆきます。さねはぎシダーサイディングがプール周囲の戶外室をくっきりと際立たせ、屋外と、ひさし付きテラスの屋内との過渡的空間をはっきりと区切っています。



### プロジェクト提供

建築設計:  
Morris Sato Studio LLP

建築技師:  
Severud Associates

総合建設請負業者:  
Legacy Homes, Inc.

写真:  
Mathew Carboneネ、Chris Foster、  
およびMorris Sato Studio

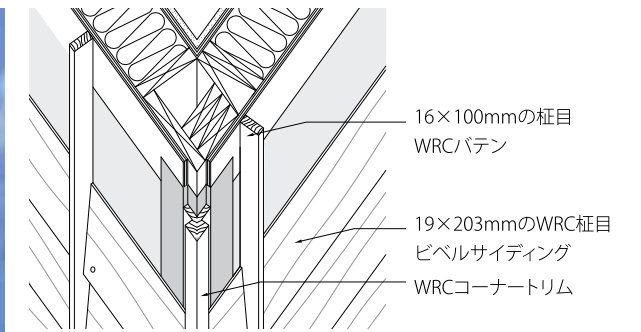
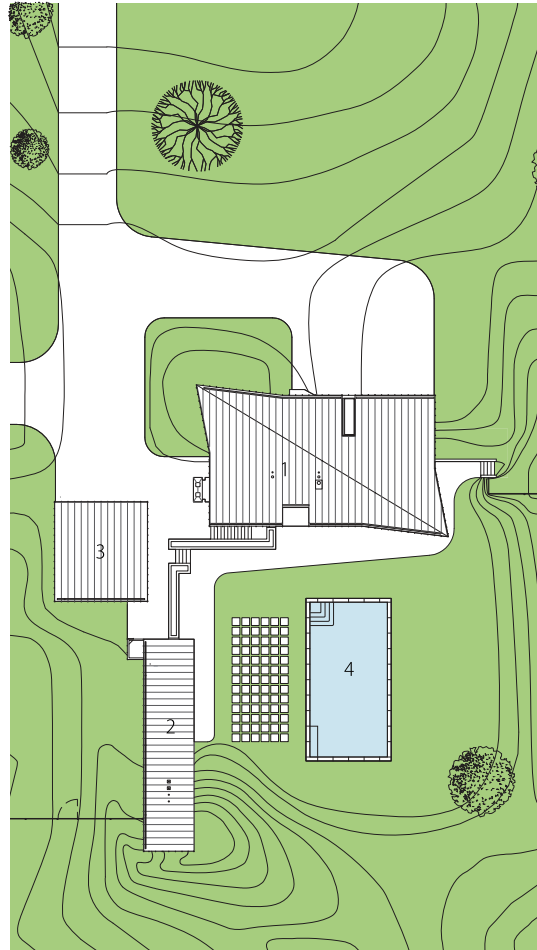


屋内では、開放的でロフトのような1階の空間に、遮られることのない斜めの流れが作り出され、角部の広々としたガラス窓が屋内と屋外の活動範囲を結びつけます。2階の寝室には一連の明かり窓とテラスが設けられているため、日当たりと景色を楽しむことができ、また埋め込み式のブラインドにより室内に日陰が作られます。室内の大きな吹き抜けが1階と2階をつないで光と風を取り入れるため、家の換気が良くなり、エアコンを頻繁に使用しなくても過ごしやすい感じられます。

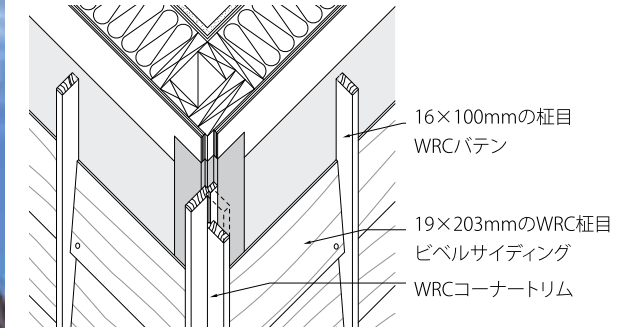
サイディングの見た目と触り心地により、建物を周囲の森林に溶け込ませ、1日を通した太陽の動きにつれて建物は表情を変化させます。不透明から透明へ、動から静へ。そして永遠と一時性との間を揺れ動く独特の趣が現れます。■

敷地計画

1. 母屋
2. ゲストハウス
3. 2台収容のガレージ
4. プール



72°の角部の詳細



90°の角部の詳細

ウエスタンレッドシダー仕様

目板打ちサイディング

- 等級: クリアな柱目
- 外形: さねはぎ
- 寸法: 特別注文の19×203mmのボード、100×100mmの4面表面(バテン)
- 接合方法: ステンレススチールのリングシャック釘
- 塗布仕上げ: 漂白オイル

垂直サイディングと下端

- 等級: 中央合わせのクリアな柱目
- 外形: ビベル(ボード)、長方形(バテン)
- 寸法: 1x6インチ
- 接合方法: ステンレススチールのリングシャック釘
- 塗布仕上げ: 漂白オイル









